

農業(野菜作農業(施設野菜))に係る総合的
かつ体系的な職務分析の推進に関する調査研究資料要約版

1書名	農業(野菜作農業(施設野菜))に係る総合的かつ体系的な職務分析の推進に関する調査研究資料				
2発行番号	調査研究資料No. 127-2	3分野	生涯職業能力開発体系	4担当室	調査研究室

5目的

中小企業等が、日常業務の合間に社内の仕事や作業をゼロから洗い出し、従業員の人材育成計画や教育訓練計画等を策定するには大変な労力と時間が必要となります。本調査研究は、業種ごとに段階的かつ体系的に職務や仕事を整理し、必要な職業能力等を「見える化」することによって、企業において段階的かつ体系的な人材育成計画や教育訓練計画等を立てていただくことを目的に進めている調査研究です。

6概要

本調査研究は、中小企業等が人材育成において抱えている課題や問題(技能・技術の承継ができない、優秀な人材を確保したい、従業員に目標とやりがいを持たせたい、従業員ごとに必要な研修や研修計画の作り方が分からない等)を解決する一助として、産業団体等の協力を得て、それぞれの業種ごとに「職務」を遂行するために必要な能力要素を洗い出し、団体・企業等が行う能力開発や人材育成等に係る計画を効果・効率的に進めていただくよう整備しているものです。

本調査研究資料は、(社)日本農業法人協会及び全国農業会議所の協力のもと、農業(野菜作農業)のうち「施設野菜」を取り上げ、育苗・定植・受粉・収穫・出荷までの一連の流れの中で行われる仕事や作業、またその作業を行うにあたって必要となる知識や技能・技術を洗い出し、また、仕事については個々にレベル間の調整を行い、段階的かつ体系的にまとめたものです。

このデータ(職業能力体系のモデルデータ)は、「野菜作農業(施設野)」の標準的な仕事や作業等を整理したものです。自社で活用するにあたっては、本モデルデータをベースに自社の特徴などを付加して、オリジナルの職業能力体系のモデルデータを構築していただき、能力開発や教育訓の計画・実施に活用していただきますようお願いいたします。

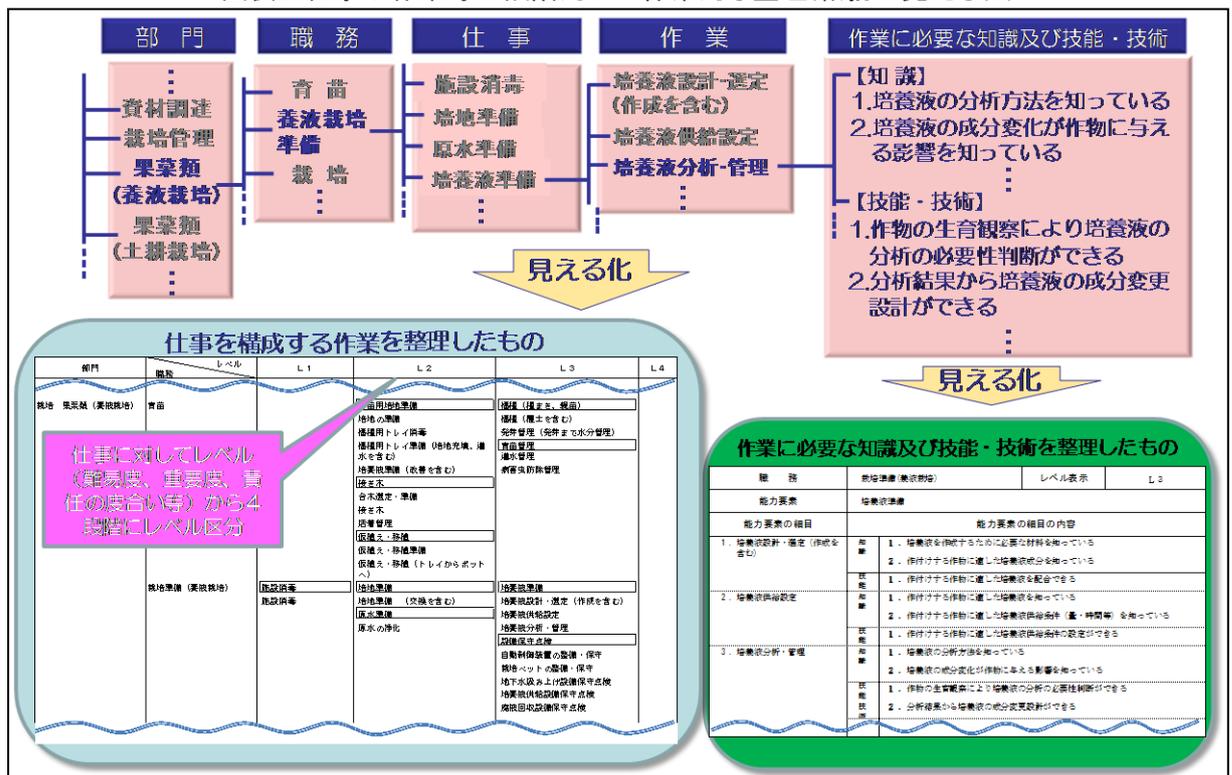
図表1:野菜作農業(施設野菜)の生産工程例



7職務分析に係るポイント(一部抜粋)

- ・法人規模は、15名程度を対象とした。
- ・「栽培」については、「栽培管理、果菜類(養液栽培)、果菜類(土耕栽培)、葉茎菜類(養液栽培)、葉茎菜類(土耕栽培)、出荷」に分類した。
- ・農機については「農機具」という表現で統一した。ただし年間予算計画に基づいて導入する農機等については、「農業機械」という表現を用いた。
- ・経営の要素として「情報化マネジメント、ハウス建設計画、環境制御設備計画、農業機械導入計画、農地・ハウス利活用戦略」等について整理し記載した。
- ・「品質管理」においては、「トレーサビリティ」に関する記載を行うとともに、GAPやHACCPの認証に関係する「品質保証、品質保持、危機管理、リスクマネジメント」も記載した。
- ・外国からの購入物が多いことから、為替に関する内容を記載した。
- ・「除草」の対応については、ハウス内外で異なるため「栽培管理」及び「栽培」のそれぞれで整理した。
- ・施設栽培における「ハウス」の主要構成材は、多岐にわたるため「被覆材」という表現に統一した。
- ・「ハウス等保守点検」では、保守点検、補修・交換、補強、張替えの視点から整理した。
- ・「生育調整」は、植調剤の場合と葉面散布(肥料等)の場合に分けて整理した。
- ・「出荷」については、配送計画、返品クレーム対応と分析等の視点から整理した。

図表2:仕事や作業等の段階的かつ体系的な整理(職務の見える化)



8本書の活用方法

生涯職業能力開発体系は、生産現場等において事業承継、後継者・管理者・社員の人材育成や人材確保に関して、「仕事の見える化」・「能力の見える化」・「目標の見える化」等によって課題発見・解決に活用できます。例えば、自社のISO認証取得や人材育成、技能伝承に反映させる技術・技能マップの基礎資料としての活用事例があります。

注記 本報告書等は、能力開発研究センター「職業能力開発ステーションサポートシステム

・能力開発研究センター刊行物検索」から閲覧、ダウンロードができます。

URL : <http://www.tetras.uitec.ehdo.go.jp/>